

2017 年度 岩手大学男女共同参画推進学生委員会（GESCO） 活動報告書

<2017 年度の活動テーマ>

「学生の職業観に見るこれからの若者の多様な生き方」

設定理由等：2015 年度は「学生の結婚観からジェンダーを考える」、2016 年度は「これからのライフプランニング～多様な視点から～」とテーマを設定して活動してきたが、これまでに調査・分析してきた「結婚観」や「ロールモデル」を活かしつつ発展的な活動につながるテーマを、という意識で本テーマに決定した。大学卒業後の自分の人生をどのようなものにしていくか、それにあたって今どのようなことを知ったり考えたりする必要があるのか。そうした、ライフプランやキャリアデザインに関する多様な“気づき”を学生に持たせられるような活動に取り組みたいと考えている。職業観という面から、ジェンダーや男女共同参画についてだけでなく、若者世代の「これからの生き方」を広く・深く考えていきたい。

<2017 年度の主な活動>

○新入生を交えてのランチタイム勉強会

開催日時・場所	テーマ・内容	発表者
第 1 回 4/28 (金) 12:10~ 学生センター A 棟 2 階ぱるんひろばにて	「水無田気流『無頼化した女たち』(亜紀書房、2014) を読んで」 水無田氏の著作を読み、時代の変遷に伴う流行やカルチャー等の面から日本の女性たちの生き方を見るという発表。	教育 4 年
第 2 回 5/12 (金) 12:10~ ぱるんひろばにて	「若者の結婚観について」 GESCO が 2015 年度に岩手大学生を対象に実施したアンケートから見えた、若者の結婚観について発表。(2015 年度 NVEC フォーラムで発表したもの)	GESCO 4 年 2 名
第 3 回 5/26 (金) 12:10~ ぱるんひろばにて	「フィンランドに学ぶ 子育て支援、男女平等の社会づくりについて」 フィンランドで行われている支援や各制度、男女平等の現状について、実際にフィンランドの教育機関を訪問した委員による発表。	教育 4 年

○岩手経済研究所訪問

- ・日時 2017年8月23日(水) 10:00
- ・場所 岩手経済研究所(盛岡市)
- ・目的 「岩手県内新入社員の職業観と生活観—平成29年度新入社員意識調査より—」(岩手経済研究所)に関して、調査概要やその詳細について伺い、今年度の活動の参考にすること。
- ・参加者 教育4年生、同4年生、同1年生
- ・振り返り

平成29年度の意識調査だけでなく、過去3年分の意識調査と見比べながら、岩手県内の新入社員の意識について理解することができた。毎年、意識調査の項目などを少しずつ変えながら、時代や経済状況に伴って変化する若者の職業観・生活観に迫る内容となっていることが分かった。男女共同参画とはまた違う視点から職業観について考える良い機会となり、今後もさまざまなことを学ばせていただきたいと感じた。

○ふるさと発見！大交流会 in Iwate2017 併催フォーラム参加

(ふるさと発見！大交流会 in Iwate2017 実行委員会、ふるさといわて創造協議会主催)

- ・名称
「働くジブン、未来のジブン」～岩手大学OGと「職と生き方」について考える～
- ・目的

当委員会は、今年度「学生の職業観に見るこれからの若者の多様な生き方」をテーマに活動を行ってきた。これからの自分の人生をどうしていくか、それにあたり学生時代はどのようなことを知ったり考えたりするべきであるのかなどを考える機会、そして今年度の活動テーマ設定理由にも関わる「ライフプランやキャリアデザインに関する多様な“気づき”」を持てる機会として、このフォーラムを活用してもらいたいという目的で企画した。現在岩手県内で若手として活躍している岩手大学の卒業生3名を迎え、職業観という面から、若者世代の「これからの生き方」と「女性のライフデザイン」について考える内容である。そして、“働くジブン”と“未来のジブン”のために、「誰もが輝ける生き方」とは何か考えることを目指したフォーラムである。ふるさと発見！大交流会 in Iwate2017のキャッチコピーにもある「いわてで働き、輝くために」に関して、当委員会ならではの視点からアプローチするものとなっている。

- ・日時 2017年11月19日(日) 10:00~12:00
- ・場所 岩手大学総合教育研究棟(教育系)2階 E23 教室
- ・プログラム

時間	内容	担当など
10:00~	開催にあたって 当委員会の説明を兼ねた挨拶と全体の説明	教育4年生、人社1年生
10:10~	パネルディスカッション*1 岩手大学の卒業生に現在の仕事や就職活動についてなど「職」について聞く	教育4年生、教育1年生、卒業生3名
11:00~	グループディスカッション*2 パネルディスカッションの内容について参加者も交えて話し合う	委員、卒業生、参加者の方々
11:25~	まとめ 全体を振り返ってのまとめと総評 コメント：岩手大学理事・副学長・男女共同参画推進室長 菅原悦子先生	委員、卒業生、菅原悦子先生

***1 パネルディスカッションについて**

委員2名がコーディネーターを務め、岩手大学の卒業生である女性の方々3名とトークしていく。先輩方は3名である（人文社会科学部卒・国立大学法人岩手大学勤務、農学部卒・東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社勤務、工学部卒・株式会社ミクニ勤務）。今回のフォーラムの参加者層として想定されている高校生・大学生に比較的近い年代である、社会人2~10年目の先輩方の「職」に関する思いや経験を聞き出すことで、自分の未来について考えるきっかけとしてもらいたいとの思いでキャストイングを行った。

***2 グループディスカッションについて**

上記のパネルディスカッションを踏まえ、一般の参加者の方々も交えてさらに深く語り合う時間とする。全体を3グループに分けて、そのグループごとに、先輩方への質問や、感じたこと・考えたことなどをざっくばらんに語り合う。その際、先輩方には、事前に入力していただいたパワーポイントをもとに話していただく。机ごとにおよそ10分間のグループディスカッションを3回行い、ローテーション式にすることでどのグループでも話せるように工夫した。

※フォーラム実施後の感想、反省などの振り返りは<今年度を振り返って>にまとめている。

・フォーラム当日の様子



○GESCO トークカフェ開催

- ・日時 2017年12月22日(金) 16:30~18:00
- ・場所 岩手大学学生センターA棟1階エントランスホール
- ・目的と内容

GESCO トークカフェは、参加者どうしでの意見交換を通して、身近に潜むジェンダーの問題や無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)、多様性などについて考えてみようという目的で行うイベントである。今回は、東野圭吾作『サンタのおばさん』(文藝春秋、2001)を読んで、思ったこと・感じたことを話し合う企画とした。「なぜサンタクロースは男性だと決めてかかるのかね」「サンタクロースは父性の象徴だと思うのですが」「姿形など大した問題ではないということですよ」など、作中には考えさせられるセリフが多く出てくる。この絵本から、誰もが無意識に持ってしまっているジェンダー観や偏見について考えることが今回の目的である。

・振り返り

トークカフェという形で学生が気軽に男女共同参画について考える機会の提供ができ、クリスマスに合わせた身近な題材を取り上げられたのが良かった。「自分の中でのサンタクロースが男性であるという思い込みがあることに気づかされた」「父性と母性の問題についてさらに考えてみたい」等の感想があった。次年度以降も継続して行っていきたい。

・当日の様子



<今年度を振り返って>

今年度の活動の中でも、特に11月開催の、「ふるさと発見！大交流会 in Iwate “働くジブン、未来のジブン”～岩手大学OGと「職と生き方」について考える～」では、岩手大学卒業生と職にまつわるトークセッションを行い、参加者とともに、働き方や生き方を考えることができた。アンケート結果から、参加者のほとんどがフォーラムの内容を「良かった」と評価し、「就職活動を経験した先輩から直接話を聞いたことが貴重だった」「フォーラムを通して10年前と現在の社会や女性のあり方が大きく変化していることが分かった」などのコメントが寄せられた。この企画を運営して、学生を中心にライフプランやキャリアについて一緒に考える機会を作ることができて良かった。先輩方とのトークセッションでは、参加者の学生が積極的に質問をしている様子や、先輩方のお話を聞いて感じたことや考えたことをメモしている様子が見られ、思っていたよりも自分自身の「職業観」や「ライフプラン」について関心を持っている人が多く感じられた。高校生の参加も多く、興味を持ってもらえたことが良かった。このフォーラムを通してこれからの生き方を考えるきっかけになっていると嬉しい。

今年度の反省点は、当初予定していた上記のフォーラム開始前の学内アンケート実施には至らなかった点と、トークカフェなどの学内向け企画の立案・実施が遅れ、多く開催できなかった点である。次年度以降、この反省を活かして活動計画を立てていきたい。

<次年度に向けて>

今年度の活動テーマ「学生の職業観に見るこれからの若者の多様な生き方」を深く掘り下げるまでには至らなかったことは課題ではあるが、委員も含めた、学生の「働くことへの意識」が少しずつ明らかになったと感じている。また、さまざまなイベントを通して多くの“気づき”を獲得することができた。今後はその“気づき”を学内外で広く共有しながら、より良い学生生活の実現と、卒業後の多様な生き方を支えていけるように努める。

今年度は、岩手大学の卒業生の方々や、岩手県内の男女共同参画に関わる多くの方々を含め、学内外から広くご協力をいただき、多様な活動を行うことができた。次年度は今年度の活動を生かし、これまで培ってきたネットワークを基盤に、より積極的に活動していきたい。